



山形県獣医師の



ススメ



山 形 県

山形県ってこんなトコ

さくらんぼの里、もう一つの日本「やまがた」

山形県は、東北地方の日本海側に位置し、東京から概ね北に 300km、山形新幹線で約 3 時間の距離にあり、一般には、全国生産量の 7 割を占める「さくらんぼ」と鮮やかな四季で知られています。

蔵王、月山、鳥海、吾妻、飯豊、朝日と日本百名山に数えられる秀麗な山々に囲まれ、南から連なる米沢、山形、新庄の各盆地と庄内平野を「母なる川」、最上川が流れる、美しい自然に恵まれた地域です。ここでは、人の住む集落、市街地と農地や里山が綾をなし、自然と人間が調和して存在する、「もう一つの日本」が広がっています。

江戸時代、俳聖・松尾芭蕉は「奥の細道」の全行程 156 日のほぼ三分の一にあたる 43 日間を山形県で過ごし、その旅は出羽三山を目指した「心の旅」とも言われるように、いにしえの昔から、山形県は精神文化の地とあがめられてきました。

全国第 9 位の 93 万 ha の県土面積は、その地勢や江戸時代の幕藩体制のなごりから、方言や食べ物など、文化も少しずつ異なり、南から、置賜(おきたま)、村山(むらやま)、最上(もがみ)、庄内(しょうない)の 4 つの地域に大きく区分されています。
(山形県 HP より転載)





山形県の獣医師職員

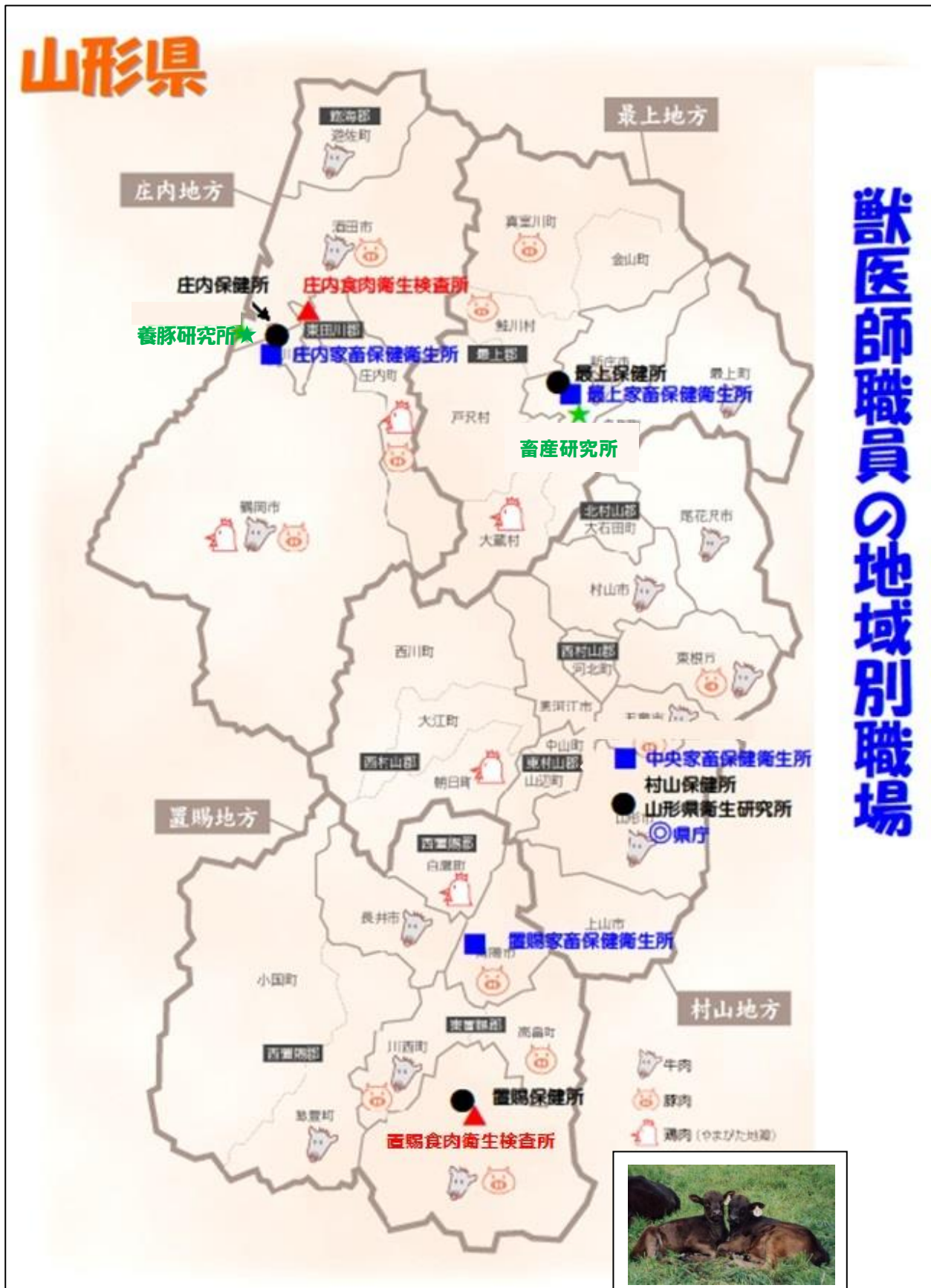
◇山形県の獣医師職員の配属先◇

1	防災くらし安心部	食品安全衛生課	3名
		食肉衛生検査所（置賜・庄内）	23名
2	健康福祉部関係	保健所（4か所）	10名
		衛生研究所	4名
3	農林水産部関係	畜産振興課	3名
		家畜保健衛生所	41名
		（中央、最上、置賜、庄内の4か所）	
		畜産研究所	3名
		養豚研究所	1名
合 計			88名

獣医師 — ヒトと動物の「生命」を科学的に見つめるスペシャリスト —

獣医師の職務は幅広い分野に及びますが、いずれの職務もヒトや動物の「生命」や「健康」と密接な関係にあります。具体的な職務には、畜産に関係する分野として、家畜の伝染病の予防や家畜疾病等の病気の診断【家畜保健衛生所】、家畜・家禽の改良および研究等【畜産研究所、養豚研究所】や、公衆衛生に関係する分野として、食品衛生の確保や動物愛護の普及啓発【保健所】、人獣共通感染症の研究等【衛生研究所】、と畜検査【食肉衛生検査所】があります。いずれも獣医学で培った技術や知識を大いに発揮できる職務内容です。近年、全国あるいは全世界的に問題となっているCSF（豚熱）・ASF（アフリカ豚熱）、牛海綿状脳症（BSE）や高病原性鳥インフルエンザ、そして口蹄疫などの対策で中心的な役割を果たしているのは獣医師であり、今後も幅広い分野での活躍が期待されています。また、獣医師を配置した研究施設が畜産、公衆衛生の分野ごとに設置されており、研究施設以外の職員に対しても各種研修制度が設けられ、学会等への参加も盛んです。

山形県の獣医師の職場



<<山形県の獣医師の募集に関するQ&A>>

Q:令和8年度の獣医師の受験案内はいつ出るの？

A：令和8年4月24日に公開されました。インターネットで検索、ダウンロードができます。また、「やまがたe申請」上でインターネットによる受験申込ができます。

山形県ホームページ

<https://www.pref.yamagata.jp/930001/kensei/recruit/saiyoujouhou/kennoshokuin/kyuuyokinmujokenkannsei/jukenannai.html>

Q:給料はどうなるの？

A：山形県に採用された獣医師の初任給は、**約31万円**（月額5万円の初任給調整手当を含む）となりますが、ほかに、家畜保健衛生所又は食肉衛生検査所勤務の場合、**16,000円~24,000円**が「給料の調整額」として支給されることとなり、年収（県人事課試算）でみると、全国上位となっております。

Q:どんな職場があるの？

A：大きく農林水産部関連職場と健康福祉部・防災くらし安心部関連職場があります。具体的には、家畜保健衛生所・畜産研究所・養豚研究所、保健所・衛生研究所・食肉衛生検査所などがあります。

ちなみに、山形県職員として活躍している獣医師は、86名（令和8年4月1日現在）です。

Q:夏休みなどに、そちらの職場を見せていただけますか？

A：大歓迎です。日程や希望に合わせて調整をいたしますので、是非御相談ください。お待ちしております。家畜衛生対策推進協議会（事務担当：(公社)中央畜産会）が行っている行政体験研修（インターンシップ）の受入れも行っています。

連絡先：

農林水産部畜産振興課（県庁内）	023-630-3350	担当	関 美津子
防災くらし安心部食品安全衛生課（県庁内）	023-630-2621	担当	佐藤 大

<<給与・福利厚生(山形県獣医職)>>

○初任給^{*}(R8.4.1 現在)

衛生研究所	346,200 円
食肉衛生検査所	338,700 円
家畜保健衛生所	330,700 円
畜産研究所	327,400 円
養豚研究所	327,400 円
上記以外	314,700 円

※月額 50,000 円を限度とした初任給調整手当、職種に応じた調整額を含む。
他に住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、扶養手当等の諸手当が要件に応じ支給されます。



○期末・勤勉手当(ボーナス R8.4.1 現在)

6, 12 月に計 4.65 月分

○健康管理

各種健康診断
メンタルヘルス

○休暇関係(一部抜粋)

土、日、祝日休み(カレンダー通りの休暇)

有給休暇 年 20 日(最大 20 日繰越可:合算 40 日)

夏季休暇 年 6 日(7~9 月に取得)

リフレッシュ休暇 5 日(30, 40, 50 歳になる年)

リフレッシュ年休 3 or 5 日^{*}(35, 43, 47, 53, 56, 61 歳になる年)

※有給休暇の内数として

結婚休暇 7 日

育児休暇 最大 3 年(1 歳まで育休手当金あり)

男性職員の育児参加休暇 5 日

家族看護休暇 年 5 日

忌引休暇 最大 10 日



山形の んめもの(美味しいもの)



さくらんぼ



ラフランス

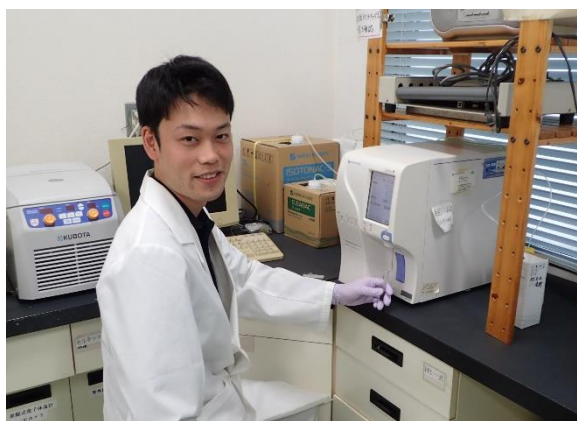


板蕎麦



山形牛

■獣医師の職場■ 家畜保健衛生所



令和4年度採用
川久保 和希 研究員
(現：畜産研究所)

現在の所属と担当業務(家畜保健衛生所)

庄内家畜保健衛生所では、疾病の検査・診断、家畜の伝染病の予防、飼養管理についての指導、獣医事、薬事に関する業務などを行っています。私の主な担当業務としては、ウイルス・細菌・寄生虫の検査や豚熱予防ワクチンの接種、鶏の衛生指導・検査などですが、他の業務や研修会等にもたくさん参加させてもらっています。

1年間仕事をしてみて

あっという間の1年間でしたが、たくさん勉強する機会をいただきました。いろいろな畜種(牛豚鶏羊など)と関わったり、疾病を特定するために解剖や様々な検査を行ったりと、充実した日々を送れました。家畜の伝染病の検査や予防だけでなく、農場の衛生指導や医薬品の使い方、鳥インフルエンザ対応など家保職員の職域は幅広いので、その人なりのやりがいを見つけやすいのが良い点なのかなと感じています。

受験者、県外の方へ

私は神奈川県出身ですが、就職先に山形県を選びました。山形を選んだ理由は様々ありますが、一番の決め手は職場の見学に来た際のイメージが良かったことでした。また私の勤務地である庄内地域は、海と山に囲まれた自然豊かな場所です。海を見ながら農場へ向かうのは気持ちがいいですし、景色のいい山で牛や羊を追いかけるのは、とても癒されます。加えて山形県は米、肉、酒、果物などおいしい食材だらけです。是非一度、見学に来てみてはいかがでしょうか。

■獣医師の職場■ 家畜保健衛生所



(病性鑑定担当)

平成31年度採用

高橋宏充 獣医師
(中央家畜保健衛生所)

現在の所属と担当業務(中央家畜保健衛生所)

中央家畜保健衛生所は一年を通して美しい景色を堪能できる山形市にあり、獣医師16名と庶務担当1名の計17名で構成されます。県内に4か所ある家畜保健衛生所の中で唯一、細菌・ウイルス・生化学・病理の4部門の精密検査を行う病性鑑定施設を有し、その中で私はウイルス検査を担当しています。疫学情報や臨床症状、剖検所見などから関連するウイルスを推測し、分離培養・遺伝子検査・抗体検査等により家畜のウイルス性疾病の原因究明・診断を行っています。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

県職員獣医師としての魅力は、自分の仕事が人の役に立っていることを肌で感じられるところだと思います。家畜保健衛生所は家畜伝染病の予防や慢性的な感染症の低減のために畜産農家さんとお話する機会が多くあります。検査により病原体を特定することはもちろん、1件1件の畜産農家さんの実情に合わせて具体的な対策を提案することが大切であり、「おかげさまで改善したよ。どうもありがとう。」と言ってもらった時は、この上ない喜びを感じます。また、多岐にわたる業務を通して幅広い職種の方々とお話できるのも魅力の一つです。

ウイルス担当はまだ1年目のため駆け出しですが、先輩方から検査手技を学んだり、文献から最新知見を得たりと充実した日々を送っています。山形県には研究成果を全国へと発信した方々もたくさんいらっしゃるので、家畜衛生に寄与できるような研究にも力を入れていきたいと思っています。

受験者へのメッセージ

県職員獣医師は、大学で学んだ知識を惜しみなく生かせる、とてもやりがいのある仕事です。山形県の獣医師の仲間として、一緒に楽しく働きましょう！

■獣医師の職場■ 食肉衛生検査所



平成 30 年度採用
野中 基弘 主任獣医師
(置賜食肉衛生検査所)

現在の担当業務(置賜食肉衛生検査所)

日本三大和牛とも言われる「米沢牛」の産地にある置賜食肉衛生検査所では、獣医師である「と畜検査員」が、と畜場に搬入された家畜を1頭ずつ検査する「と畜検査」、と畜場や付設食肉処理施設への「衛生指導」、と畜検査で判定保留となった家畜を詳しく検査する「精密検査」、日々の業務で疑問に思った点を学術的に探求する「調査研究」等を行っています。最近では令和3年6月から HACCP に基づく衛生管理が義務化され、衛生状況の確認が大きなウエイトを占めるようになりました。と畜検査員6名、事務員1名、補助員1名の小さな職場なので、現場から試験室、事務処理まで幅広い業務を担当します。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

と畜検査員は食肉の安全に責任を負う仕事です。異常や微生物汚染のある食肉の流通は消費者の健康被害に、誤診による廃棄は生産者の財産を奪うことにつながります。獣医学の専門知識を生かして日々の研鑽を積み、重い責任を果たす県職員獣医師の仕事は、面と向かって感謝されることは少ないですが、社会を陰から支えるやりがいのある仕事です。

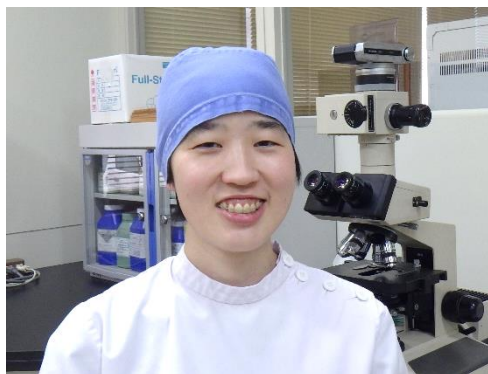
一方で、食肉衛生検査所に勤務する間に、大学での長期病理研修、学術誌への論文投稿、学会発表など様々な経験をする機会もいただきました。専門職として学術的な活動がしやすい環境があるのも県職員獣医師の魅力だと思います。

また、福利厚生が充実しているのも、ワークライフバランスはもちろん、子育て中でも無理なく働ける職場だと感じています。

受験者へのメッセージ

私は臨床獣医師を志して獣医学の道に進みましたが、インターンシップに参加して県職員獣医師を知りました。公衆衛生の向上や畜産振興を通じて人と動物の健康を守る県職員獣医師も、臨床獣医師と同じく社会に貢献できる仕事です。ぜひ一度、インターンシップや説明会で山形県職員獣医師の仕事を体感してもらえればと思います。そしてご縁があれば、自然にあふれ、満員電車はなく、食も豊かな山形で一緒に働いてみませんか？

■獣医師の職場■ 食肉衛生検査所



令和3年度採用
藤倉 玲奈 獣医師
(庄内食肉衛生検査所)

現在の担当業務(庄内食肉衛生検査所当時)

庄内食肉衛生検査所では、消費者に安全で衛生的な食肉を提供するため、と畜場に搬入された牛や豚等の家畜が食肉になるまで1頭ごとにと畜検査を行い疾病排除に務めるとともに、と畜場内の衛生監視指導も行っております。私は、試験検査課に所属しており、主にと畜検査業務、細菌検査及び食肉の安全性向上のための調査研究を行っております。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

日本では、スーパーで売っていたり、飲食店で提供されたりするお肉の安全性を疑う人はあまりいないと思います。その当たり前の安心を、獣医師が支えています。と畜検査員には、と畜検査だけではなく、と畜場や付設食肉処理施設を見て、施設の衛生管理を確認し、助言や指導を行ったり、検査や調査研究で得た知見を各種研修会や学会等で発表したりという業務もあります。と畜場で処理されたものの流通範囲はとても広いので、食の安全に広く貢献できることにやりがいを感じています。

受験者へのメッセージ

私は、入庁してからずっと庄内食肉衛生検査所での勤務なので、他の職場のことはわかりませんが、休みがとりやすくほとんど毎日定時に帰れるので、自由に使える時間が多いと感じています。仕事以外の時間も充実させたい方には、すごくいい職場だと思います。

■獣医師の職場■ 保健所



令和2年度採用
盛合 胡絵 獣医師
(庄内保健所生活衛生課)

現在の担当業務(庄内保健所)

庄内保健所では、主に食品衛生、狂犬病予防、動物愛護の業務を担当しています。食品衛生業務としては、飲食店や食品販売施設の開設相談、申請受付、立入検査等を行い、施設の基準を満たしているか確認しています。

狂犬病予防業務としては、飼い主が見つからない犬の捕獲や、飼い主に対する登録・狂犬病予防注射の推進、人を咬んだ犬とその飼い主に対する指導等を行っています。

動物愛護業務としては、飼い主が諸事情で飼えなくなった犬や猫の引取り、負傷動物の保護、動物取扱業者(ペットショップ等)への監視指導等を行っています。収容された動物は、譲渡判定を行い、新しい飼い主へ譲渡しています。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

保健所における獣医師の業務は主に公衆衛生分野にあたります。獣医学の中では疫学とも関わる、日常の暮らしに非常に近い分野です。食中毒を発症した方への聞き取り、流通品の数量確認、お店への立ち入り、各保健所との連携など同じ業務内でもミクロとマクロの視点が入り混じるため、業務を通して臨床の現場では得られない、県民の方々の健康を支えている充実感を感じることができる点が魅力的だと思います。

また、保健所における獣医師は動物愛護・管理業務を行います。飼い主の高齢化、多頭飼育といった問題の増加や動物愛護の考えの浸透により、これまで以上に動物愛護業務に対して注目が集まっていると実感しています。

受験者へのメッセージ

公務員獣医師は一か所の職場のみに勤務するのではなく、数年に一度転勤があります。そのため臨床分野から公衆衛生分野まで、自分が持っている獣医師としての知識・技術を余すところなくフルに活用できます。様々な分野で活躍できる獣医師を目指してみませんか？

■獣医師の職場■ 衛生研究所



平成31年度採用
鈴木 麻友 研究員
(現：村山保健所生活衛生課)

現在の担当業務(衛生研究所)

私が所属する微生物部では、県内で発生した感染症や食中毒についての検査、研究を行い、県民の方々の生活と健康を支える仕事をしています。中でも私は細菌担当として、主に結核菌や腸管出血性大腸菌の分析をしています。

結核では、遺伝子解析により感染源や感染経路を追究したり、結核患者の接触者が結核に感染しているかどうかを調べたりしています。腸管出血性大腸菌感染症では、県内保健所で分離された菌株について遺伝子解析を行い、食中毒の広域発生事案の発生探知に貢献しています。この他にも多種多様な細菌感染症の検査を行い、県内の感染症の発生動向把握に努めています。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

衛生研究所は、検査を通じて県民の健康や食の安全を支えています。地域社会への貢献が、さらには国民の方々の生活を守ることに繋がる、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

衛生研究所には研究機関という側面もあります。日々の検査業務の中で湧いた疑問点や仮説を追究し、新たな発見を世間に公表することは非常に意義があることだと考えています。歴代の先輩方が多くの論文を発表していますし、業務の傍ら社会人学生として博士号を取得した職員もあり、全国的に見てもかなり研究熱心な県と言えます。

私は現在所属1年目ですので、先輩の方々の手厚いバックアップ体制の中で、検査技術を一つ一つ修得しているところです。ヒトの感染症の分野はゼロからのスタートでしたが、その一方でマダニ媒介性感染症については学生時代の知識が活かしていると感じる部分もあり、広く高度な知識を必要とする職場だと感じています。ひとりで色々な検査ができるようになるのが本当に楽しくて、検査を通じてもっと県民のみなさんの役に立ちたい！という思いで業務にあたっています。

受験者へのメッセージ

私の出身は神奈川県で、入庁を機に山形県に移住しました。他にも県外出身の先輩職員の方々が数多くいます。最初は不安もあるかと思いますが、職場の方を始め地域の方々もみんな優しく、全力でサポートしてくれます。ぜひ山形県で私たちと一緒に働きましょう！

■ 獣医師の職場 ■ 農業総合研究センター 畜産研究所



令和2年度採用
朝倉 裕文 獣医師
(現：置賜家畜保健衛生所)

担当業務

畜産研究所には、家畜改良部（肉牛）・飼養管理部（乳牛と地鶏）・草地環境部の3つの部があり、研究員17名のうち獣医師が3名所属しています。私の所属している家畜改良部では、「優良な県産種雄牛の造成と精液の供給」、「和牛のおいしさの研究」、「受精卵移植を活用した和牛増産」といった取り組みをしています。私の担当は、「OPU（経腔採卵）を活用した高能力繁殖雌牛の増産事業」や、家畜改良センターとの共同で実施している「ゲノミック評価を用いた和牛の産肉能力の予測の研究」といった業務です。他にも獣医師の業務として、飼養管理部では乳牛の飼養管理や繁殖に関連した研究、遺伝的高能力育成牛からの体外受精卵の生産・配布等の事業も行っています。また研究所で飼養している牛の日々の健康チェックや繁殖管理もしています。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

畜産研究所で働くことの魅力は何と云っても、「そこに牛がいる」ということではないでしょうか。牛の一生を追っていく中で生まれてくる興味や疑問を追及し、最終的に研究成果や事業成績として畜産現場へ還元していくことを目標に、自ら計画を考え、行動していくことができるのは畜産研究所ならではの魅力です。大学では繁殖や大動物の研究室ではなかった自分も、ここに来て初めて「OPU」、「ゲノミック評価」といった技術に携わるようになり、日々牛に囲まれながら知識を増やしていけるのは大きなやりがいを感じます。また、畜産研究所には畜産職の研究員や牛の扱いのプロである技能員の方々がいるので、飼料のことや繁殖・分娩管理、血統についてなど、聞きたいことをすぐに相談できる環境であり、非常に勉強になっています。

受験者へのメッセージ

ここに書いてきた内容は山形の公務員獣医師としての仕事のほんの一部です。実際には配属先も多岐にわたりいろいろな選択肢があります。また、福利厚生が充実しているので、ワークライフバランスを考えつつ仕事をしたい方にもおすすめです。自分は山形には縁もゆかりもない身ですが、静かで食べ物は何でもおいしく、自然も多くある一方で、都会へのアクセスも良い山形はとても生活しやすいと感じます。まずはインターンシップや説明会等で、職場の雰囲気を感じ、将来自分がここで働くかもしれないというイメージをしてみて、何か惹かれるものがあるか、思いきって山形の公務員獣医師として一緒に楽しく仕事をしてみませんか？

研究発表

●農林水産部 「畜産関係業績発表会」 令和7年度発表演題

日常業務に関連した事業、調査、研究等の業績について、発表討議を行い、今後の畜産関係事業の改善向上に資することを目的とし、毎年実施している。

- 1 清浄性維持方針を整備した町ぐるみの地方病性牛伝染性リンパ腫(EBL)対策
- 2 8年間かけて達成した牛伝染性リンパ腫清浄化事例
- 3 潜在性乳房炎による出荷停止農場の再発防止に向けた家保の取り組み
- 4 高床式鶏舎を有する養鶏場における処分鶏搬出方法の検討
- 5 長期経過をたどった黒毛和種子牛の偽牛痘症例の病態機序に関する考察
- 6 パラポックスウイルス3種を識別可能なqPCRの構築
- 7 子牛の先天性無気肺の一症例に関する病理組織学的考察
- 8 過去2年間の県内黒毛和種繁殖雌牛の血液生化学的検査結果の考察
- 9 県内で分離された豚由来病原性大腸菌の薬剤耐性調査
- 10 管内養鶏場におけるロイコチトゾーン症の発生事例

●防災くらし安心部 「食品衛生・生活衛生研修会」 令和7年度発表演題(抜粋)

- 1 「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」の定着へ向けた取り組み
- 2 動物取扱責任者研修会におけるオンライン導入について
- 3 豚の労働性筋症を疑う症例
- 4 馬及び牛のEscherichia属菌保有状況調査と検査法の検討
- 5 牛豚の食中毒起因菌3種の保有率と薬剤耐性率について

●受賞歴(一部)

日本獣医師会獣医学術賞 獣医学術奨励賞

「全身皮下気腫を呈し死亡した子牛からの*Paeniclostridium sordellii*の分離」 中央家畜保健衛生所 大橋郁代 R3
「山形県内マダニのマダニ媒介感染症病原体調査」 衛生研究所 瀬戸順次 R3

東北地区獣医師大会・三学会(地区学会会長賞受賞)

「山形県内と畜場における健康豚の*Escherichia albertii*保菌状況及びその疫学的特長」 庄内食肉衛生検査所 佐藤 空見子 H30
「新型コロナウイルスゲノム解析の現状と課題」 衛生研究所 瀬戸順次 R3
「2023年の馬刺しによる腸管出血性大腸菌食中毒の原因追究」 衛生研究所 鈴木麻友 R6
「血液を材料としたインバースPCR法による潜在的牛伝染性リンパ腫発症牛の生前診断法の検討」 中央家畜保健衛生所 高橋宏充 R6
「牛伝染性リンパ腫清浄化対策の進展により顕在化した課題と対策の検討:ある町の経験」 置賜家畜保健衛生所 大橋郁代 R7

東北地区獣医師大会・三学会(東北獣医師会連合会会長賞)

「山形県における犬猫由来マダニのマダニ媒介感染症病原体遺伝子保有状況」 衛生研究所 瀬戸順次 H30

日本獣医公衆衛生学会(東北地区学会奨励賞)

「と畜場における馬のEHEC汚染リスク調査」 置賜食肉衛生検査所 野中基弘 R6

日本公衆衛生学会(奨励賞)

「地方衛生研究所と保健所の連携による感染症疫学研究の実践」 衛生研究所 瀬戸順次 R6

●公開論文(一部)

- ・Komabayashi K, Chikaoka S, Awano H, Abe A, Sendo D, Furuyama M, Kitamura M, Tanabe S, Wada M, Ogawa N, Sasaki M, Aoki Y, Matoba Y, Seto J, Ikeda T, Mizuta K. Parechovirus A3 infections, including myalgia, in Yamagata, Japan between 2022 and 2023 and their next-generation sequencing analyses. *Jpn J Infect Dis.* 2026;79:76-90.
- ・Seto J, Inoue S, Abe S, Terashita K, Endo Y, Fujii S, Sasaki Y, Kato Y, Yamashita H, Murase Y, Mitarai S, Ikeda T, Mizuta K, Ahiko T, Wada T. A case of endogenous and collateral reactivation caused by two *Mycobacterium tuberculosis* subclones. *J Infect Chemother.* 2025;31:102795.
- ・Seto J, Takahashi J, Sampei M, Ikeda T, Mizuta K. A case of *Legionella pneumophila* serogroup 13 pneumonia

based on the detection of serogroup-specific genes in culture-negative sputum. Jpn J Infect Dis. 2024;77:118-120.

・水田克巳、小川直美、駒林賢一、佐々木美香、的場洋平、瀬戸順次、板垣勉、池田辰也. COVID-19 の呼吸器ウイルス感染症への影響—特に RS・インフルエンザ A 型・季節性コロナウイルス・メタニューモウイルス・パラインフルエンザ 3 型流行の季節性に着目して—. 臨床とウイルス. 2023;51:270-274.

各種制度

○研修制度

・農林水産部

家畜衛生講習会（農林水産省主催；主な開催場所 茨城県つくば市 動物衛生研究所）

基本講習会；2 週間

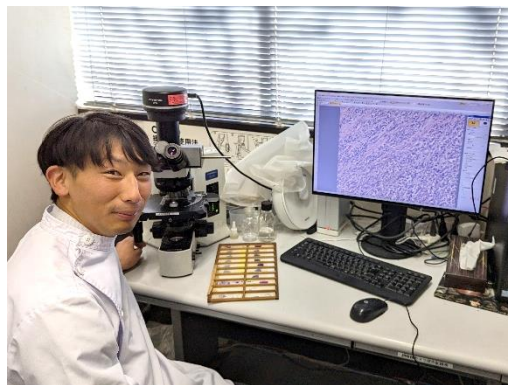
特殊講習会（牛疾病、豚疾病、鶏疾病、獣医疫学、海外悪性伝染病等）；4～10 日

特殊講習会（病性鑑定；ウイルス、細菌、病理、生化学）；各約5か月

・防災くらし安心部

と畜検査員微生物学研修（県単独事業；麻布大学）約1か月

と畜検査員病理学研修（県単独事業；日本獣医生命科学大学）約1か月



○人事交流制度

視野を広げ、知見を得るため、農林水産部（家畜保健衛生所）と防災くらし安心部（食肉衛生検査所）間で、概ね 2 年間互いの職場で勤務することがあります。

大学講義

高度な獣医学的知識と幅広い視野を有する獣医師は、家畜衛生、公衆衛生等自治体の業務に不可欠な人材であるため、博士号を有する職員等を大学に派遣し、公務員獣医師の職務内容・意義等について講義をおこなっています。

インターンシップ実習の受入

夏休み等の獣医学生の長期休暇時に、公務員獣医師のインターンシッププログラムを準備し、大学講義や大学訪問時等で連絡先を教えてくださいました方（希望者）にインターンシップの情報提供を行います。このインターンシップを通じて、山形県と公務員獣医師の業務に対する理解を深めます。

H28 年度より、インターンシップ実習に参加する方に、旅費（上限 25,000 円）と宿泊費（上限 1 泊 5,000 円×5 泊まで）を助成する制度を設けました。詳しくは、お問い合わせください。



日本一の芋煮会